

# 子どもの歯を守る懇談会 報告書

日 時	平成 27年 11月 26日 木曜日 (午後 3時 30分 ~ 4時 10分)
場 所	中央区・東 大阪市立中央高等学校
対 象	生徒・保護者・教職員 (約 200 名)
講師名	上田 裕彦 学校歯科医会：柴田 啓子 (出・欠)
演 題	歯と口の健康
講演内容	<p>歯科の2大疾患であるう蝕と歯周病について、その原因と病態について、市学歯のパワーポイントのスライドを用いて解説した。講演対象が高校1年生ということで、将来的に歯周病で歯を喪失することの無いように、GOやGを放置することの危険性を説いた。また、「ブラッシングを科学する」のビデオも併せて上映し、ブラシの毛先を活かした清掃をし、口腔内環境を良好に保つことを指導した。</p> <p>また、タバコの有害性についても解説した上で、生涯に亘って健康を保つためには食生活と生活習慣を向上し維持することが重要であることを講演した。</p>
質問事項	<p>講演時間が35分程度であったので質疑応答の時間的余裕はなかった。</p> <p>スライドの枚数を絞り込み、ブラッシングのビデオも前半で区切って、出来るだけ生徒たちの印象に残る分かりやすい講演に努めた。</p> <p>夜間部の生徒には、中央高校の学校歯科医である柴田先生が懇談会を担当される予定である。</p>
学校の協力度	<p>打ち合わせから保健主事と養護教諭に協力を頂き、検診結果と受診状況をはじめ、生徒たちの普段の雰囲気など、丁寧にご教授頂いた。</p> <p>講演の際には多くの教員の方が参加して頂き協力を得た。</p>
感想・課題・反省点	<p>中央高校は、珍しい単位制の高校である。今年を受講はクラスナンバーが61からの約200名であった。例年は、ライオンの歯科衛生士による講演を開催されていたようである。</p> <p>講演中は比較的静かに聴講してくれていたが、スマホに視線を落としている生徒も少々いたようである。より興味を引く講演をできるよう工夫したい。</p>